

会 議 の 経 過

1 開 会 午後 3 時 00 分

2 議案

(1) 平成 24 年度教育費補正予算について

学校教育課長 (資料に沿って説明)

中部子ども支援センターについて、旧産業高校の河北会館を使用していたが、使用できなくなり、現在旧上灘保育園に引っ越ししている。これを 3 月 31 日までお借りして、来年度以降については、福庭町の旧河北土地区画整理事務所を改築し使用する。工事改修費として、9 月補正予算に計上し、設計監理委託料と維持補修工事費を合わせて 15, 566 千円を見積もっている。

事務局長 (資料に沿って説明)

次に 10 款 1 項 2 目事務局費について、2 節給料、3 節職員手当等、4 節共済費の人員費については、平成 24 年 4 月 1 日からの給与カット、同じく 4 月 1 日の人事異動に伴うもので、決算を見込み補正するもの。以下各項において人員費については、同様の理由によるものなので、説明を省略させていただく。

教育総務課長 (資料に沿って説明)

倉吉市では全小中学校が避難所に指定されており、国土交通省所管の社会資本整備総合交付金の全国防災枠の補助金を活用して、耐震補強設計業務を前倒しして実施するもの。学校名については、ここに掲載している小学校 4 校校舎 5 棟、中学校 3 棟。

2 ページには現在の耐震化計画を載せている。来年度補強工事を実施予定の 5 校については、現在実施設計を着手、設計中である。太字の平成 26 年度から 27 年度までの 8 棟について、今回補強設計のみを前倒しで行う。

議案書 6 ページの債務負担行為補正について、奨学資金貸与金平成 24 年度から 28 年度まで 9, 600 千円の債務負担を設定している。

市の奨学金は(財)三松奨学育英会と倉吉市奨学金の 2 本立てであるが、昨年度から応募が減り、今年度については 4 人倉吉市の奨学金の予算枠を設けていたが、応募が無かった。応募の時期が遅すぎるという意見があり、例えば日本学生支援機構は、春先から募集を開始し、予約される。現在、市の奨学金は、奨学資金の貸与規則に基づいて貸与を行っているが、大学等に入学後でなければ、奨学資金の申請ができないので、この債務負担行為の設定と併せて、規則も大学受験前の高校 3 年生の段階で申請ができるように改正を行うもの。

学校給食センター所長 (資料に沿って説明)

議案 6 ページ債務負担行為について、これは学校給食輸送業務が今年度末をもって契約が終了するため、25 年度からの 6 年間の新たな契約をするために債務負担行為を設定するもの。

今回の契約については、前回（の問題点）を踏まえ、業務内容、決定方法を明確にし、透明性のある契約方法としたい。公募型指名競争入札を行う予定にしている。

委員長 ただいまの議案について質疑は。
（質問・意見等なし） …承認

3 報告事項

(1) 教育総務課 （資料に沿って説明）

① 倉吉市立高城小学校河来見分校閉校記念式典について

(2) 学校教育課 （資料に沿って説明）

① 区域外・校区外就学承認申請について

② 不登校・問題行動の状況について

③ 中堅職員研修について

④ 市初任者研修について

⑤ 親子まち並み・産業見学教室

⑥ 中国大会、NHK全国学校音楽コンクール鳥取県大会について

⑦ 新規ALT（外国語指導助手）の着任について

⑧ 倉吉市立小・中学校適正配置等地区説明会（上井・社・明倫・西郷・上灘）

⑨ 倉吉市中学生代表ミニサミットについて

⑩ 平成24年度第1回学校教育審議会について

⑪ 全国学力・学習状況調査について

学校教育課長 適正配置の地区説明会については、8月9日の上灘地区をもって14地区終了した。参加者合計は718名。聞いていただいたとおり賛否両論あり、中学校のことも考慮に入れた方がよいのではないかというご意見、上小鴨地区では地区を分断するようなことは避けてもらいたいとの意見があった。その後にアンケートをさせていただいていたので、これを整理したものを掲載している。数字としては再編が必要だということに対して、必要またはどちらかと言えば必要が52%という結果になった。

委員長 学校教育審議会1回目が開催された中で、適正配置地区説明会の話もされたと思うが、それについての率直な意見等はなかったか。審議会で再度示されるのか。

委員 今度は審議会が作るのではなく、市の方が作成し、逆に審議会の方に意見を求めるという形にしなければならない。

学校教育課長 （審議会）委員さんからその辺の質問があり、意見は聞く、と。ただ、今委員がおっしゃられたとおり、最終案については教育委員会の方で作成し、それに対して（審議会委員の）ご意見を伺って参考にさせていただく、というご説明をした。

委員長 わかりました。

委員 アンケートの集計があるが、評価が非常に難しい。性格上それは仕方ない。

学校教育課長 非常に扱いが難しいと思う。

教 育 長 (小学校再編が)「必要、どちらかという必要」を、地区ごとに見てみると、50 パーセントを超えて 70 パーセントから 80 パーセントになっている。

委 員 員 全体数から見る割合よりも、それぞれの地区を一つの単位として見たときに、50 パーセント超えれば、というようなやり方ではじき出すと、要するに参加の少ない地区も、多い地区も、同じ比重で集計したら、それはそれで別の資料になる。5 人くらいしかおられないところと同じ判断をするというのも難しいかもしれないが。

委 員 長 10 人で地区の評価と見るのも難しいかもしれない。

全体としては(賛成が) 52 パーセントで半分は超えている。意見としては前へ進め、という方向で、教育委員会としてきちんとした最終案を出せ、というのが強いのでしょうか。これからのことは、またここで話し合うが、前進していかないといけないということは間違いない。

(3) 生涯学習課 (資料に沿って説明)

- ① 平成 24 年度倉吉市生涯学習講座(倉吉近代人物館)
- ② 公民館利用料金の一部変更について
- ③ 倉吉市社会教育委員の委嘱について

(4) 文化財課 (資料に沿って説明)

- ① 平成 24 年度伝建修理・修景事業文化庁現地指導 7/24-25 の報告
- ② 史跡伯耆国分寺跡(歴史公園)内イチョウの幹折れ 8/2 の被害報告

(5) 倉吉博物館 (資料に沿って説明)

- ① 特別展「第 8 回菅楯彦大賞展」京都会場について
- ② 第 5 回自然ウォッチング「天の川と夏の星座を見よう」

(6) 倉吉市立図書館

- ① 図書館の夏休み期間中の月曜日開館について

4 その他

(1) 市民からの声対応状況 (資料に沿って説明)

次期委員会について調整し、次のとおり決定

日 時：平成 24 年 9 月 28 日(金)午後 3 時

場 所：倉吉市役所 第 3 会議室